Briefing Transcription

2027年3月期第2四半期決算説明文字起こし

富士ユナイトホールディングス株式会社

416A 東証スタンダード 卸売業

企業情報はこちら >>>

紹介動画はこちら >>>

2026年11月12日（木）

FISCO Ltd.
https://www.fisco.co.jp

富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

目次

■決算を受けてのフィスコアナリストコメント —— 01

■出演者 —— 02

■決算説明 —— 03

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

決算を受けてのフィスコアナリストコメント

・富士興産は、1949年に創業し、戦後の産業需要拡大を背景に燃料からアスファルト・潤滑油・LPGへ領域を拡大、近年は廃油再生やバイオ燃料など循環型ビジネスを強化している。2025年10月に持株会社体制への移行にともない上場を廃止し、富士ユナイトホールディングス<416A>の子会社となった。

・11月6日に発表された2027年3月期第2四半期（中間期）決算は、売上高が前期比16%増の35,967百万円（前回予想34,000百万円）、営業利益が同2.6倍の1,047百万円（同420百万円）と予想を大きく上回り、大幅な増収増益を達成した。主因はエネルギー領域の石油事業で、イラン情勢の緊迫化に伴う原油高を背景に販売価格が上昇したことが寄与した。加えて、リサイクル事業での大型工事の前倒し実施、ホームエネルギー事業での保安投資の一部下期繰り延べ、レンタル事業での公共・民間工事需要の取り込みも利益を押し上げた。

・通期業績予想は上方修正され、売上高で前期比10.6%増の83,000百万円（前回予想80,000百万円）、営業利益で同9.7%増の1,300百万円（1,000百万円）が予想されている。下半期の業績が抑制されているようにも見えるが、最大の要因はエネルギー領域の石油事業で、中東情勢の緊迫化で一時不安定となった国内石油製品の需給が6月以降正常化に向かう一方、価格競争の影響が出ることによる。グリーン領域では、リサイクル事業で大型の油漏洩事故対応工事を上期に前倒しした反動と、ホームエネルギー事業で上期から繰り延べた保安投資費用の発生を織り込む。さらに、環境対応エネルギー事業はバイオ燃料の需要低迷などで赤字が続く見通しで、M&A経費を含む共通経費も上期を上回る。

・株主還元では、通期の配当が62円から65円に上方修正された。経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を目的に、自己株式の取得も決議された。取得上限は34万2,000株・5億円、取得期間は2026年11月9日から2027年3月31日まで。

・2030年度に向けたロードマップでは、特にグリーン（リサイクル、環境対応エネルギー）領域を伸ばすことで、営業利益2,100百万円を目指す方針である。PER15倍の評価を受けると、時価総額で189億円程度が試算される（現在81億円）。配当性向を60%以上とすることで、現状でも高い配当利回り5.27%は、さらに上昇する可能性もある。PBRも0.83倍と割安感がある。

※ 配当利回り5.27%およびPBR0.83倍については、2026年11月6日時点

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

出演者

富士ユナイトホールディングス株式会社
代表取締役社長　川崎 靖弘様

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

決算説明



皆様、こんにちは。富士ユナイトホールディングス株式会社代表取締役社長の川崎です。
平素は格別のご愛顧を賜り、心より感謝申し上げます。
本日は、2027年3月期第2四半期決算についてご説明します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



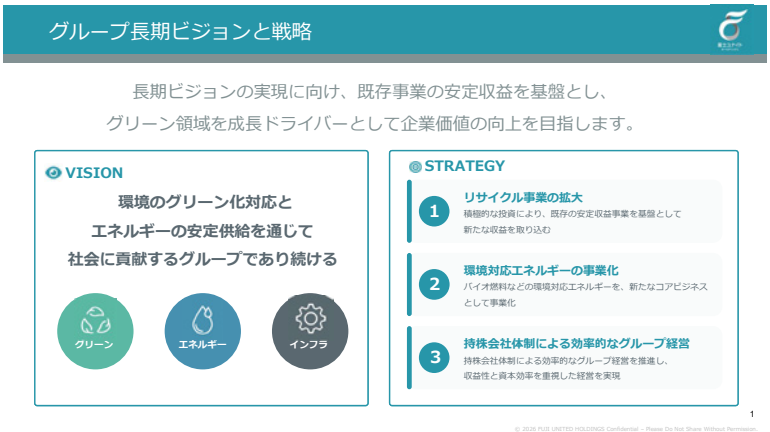
本日の議題は、次の4点です。
1点目は長期ビジョンの実現に向けた戦略、2点目は2027年3月期第2四半期決算ハイライトと通期業績上方修正等のお知らせ、3点目は2027年3月期第2四半期決算概要、4点目は現在のグリーン領域を中心とした取り組み状況です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

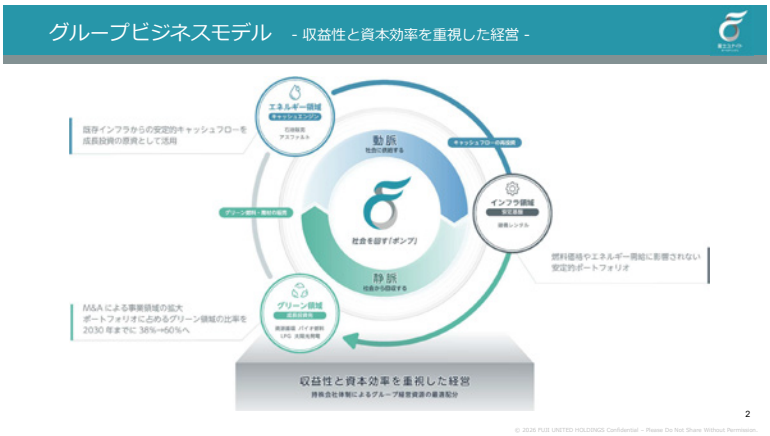
富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



まず、長期ビジョンの実現に向けた戦略です。
ご承知のとおり、当社グループは「環境のグリーン化対応とエネルギーの安定供給を通じて社会に貢献するグループであり続ける」という長期ビジョンを掲げています。
この長期ビジョンの実現に向け、昨年10月の持株会社への移行を機に、グループ事業をグリーン、エネルギー、インフラの3つの領域に区分し、それぞれの強みを生かした事業展開を推進しています。



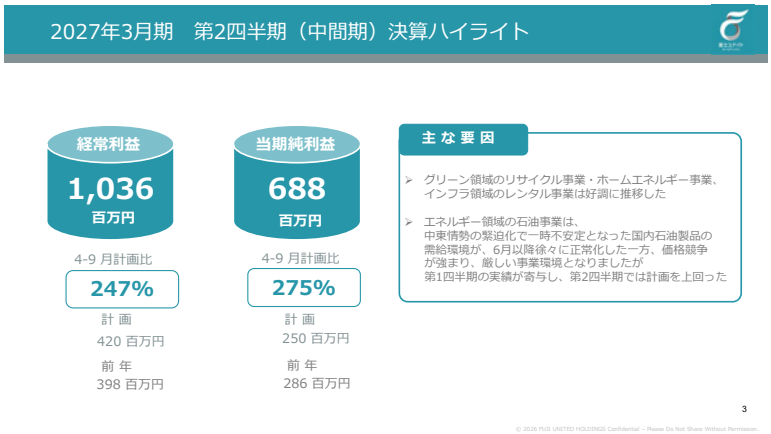
次に、当社グループのビジネスモデルです。
当社のビジネスモデルは、社会にエネルギーやインフラを供給する「動脈」と、廃棄物や資源を回収・再資源化する「静脈」により構成されています。これらを循環させることで、資源循環型のエネルギーインフラ企業として独自のポジションの確立を進めています。
エネルギー領域およびインフラ領域は、既存インフラを活用して安定的なキャッシュフローを創出する収益基盤として機能しています。これにより創出された資本をグリーン領域へ再投資することで、成長と収益の好循環を実現しています。この資本循環型のビジネスモデルは、当社グループの持続的成長を支える中核です。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

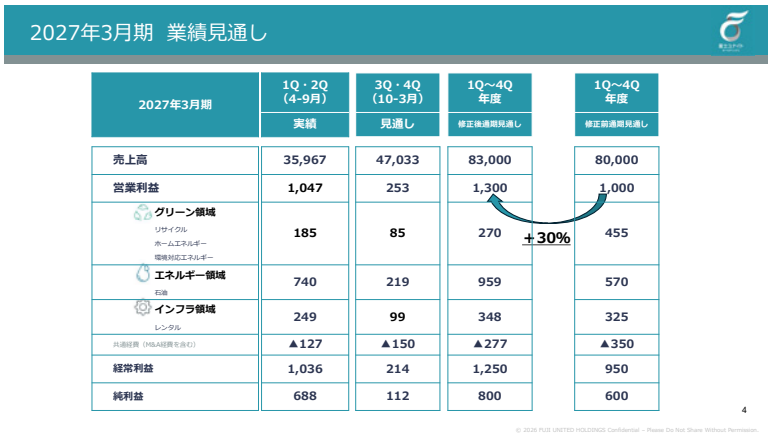
富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



次に、2027年3月期第2四半期決算ハイライトと通期業績上方修正等のお知らせについてです。
まず第2四半期決算ハイライトですが、グリーン領域のリサイクル事業とホームエネルギー事業、インフラ領域のレンタル事業が好調に推移しました。その結果、経常利益は計画比247%、当期純利益は計画比275%となりました。
エネルギー領域の石油事業では、中東情勢の緊迫化で一時不安定となった国内石油製品の需給環境が、6月以降徐々に正常化しました。一方で価格競争が強まり、厳しい事業環境となりましたが、第1四半期の実績が寄与し、第2四半期では計画を上回りました。



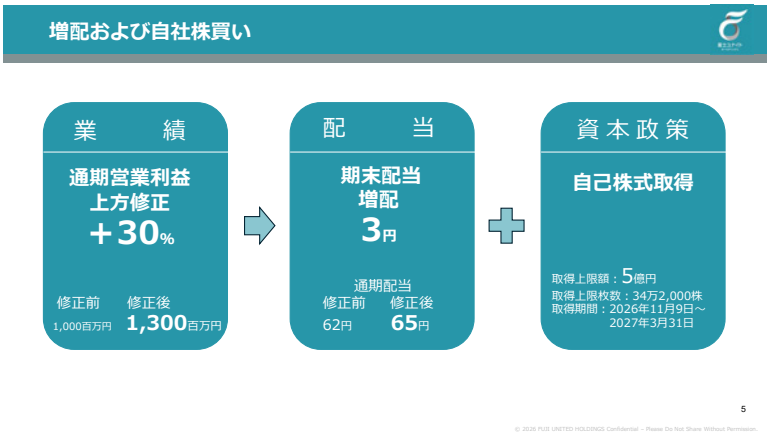
以上のとおり、2027年3月期第2四半期の営業利益は、計画に対し249%の達成率となりました。
一方、下期は一部事業の売上および経費計上の期ずれにより、計画未達を想定しています。しかしながら、第2四半期の業績好調を受け、通期営業利益予想を10億円から13億円へ、30%上方修正します。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



この通期営業利益13億円への30%の上方修正を受け、配当および資本政策の見直しを実施します。配当については、期末配当予想を3円増配します。
また、資本政策見直しの一環として、自己株式の取得を実施します。取得の上限額は5億円を予定しています。詳しくは適時開示資料をご確認ください。
当社は今後も高水準の配当方針を継続しつつ、将来の成長に向けた戦略的な投資を着実に進め、企業価値の向上を目指してまいります。



2027年3月期 第2四半期	2027年3月期/4-9月決算			2026年3月期/4-9月決算	
	実績	計画	達成率	実績	前年対比
売上高	35,967	34,000	106%	31,089	116%
営業利益	1,047	420	249%	392	268%
グリーン領域 リサイクル ホームエネルギー 環境対応エネルギー	185	95	195%	64	289%
エネルギー領域 石油	740	310	239%	81	914%
インフラ領域 レンタル	249	190	131%	246	101%
共通経費（M&A経費を含む）	▲127	▲175			
経常利益	1,036	420	247%	398	260%
純利益	688	250	275%	286	241%

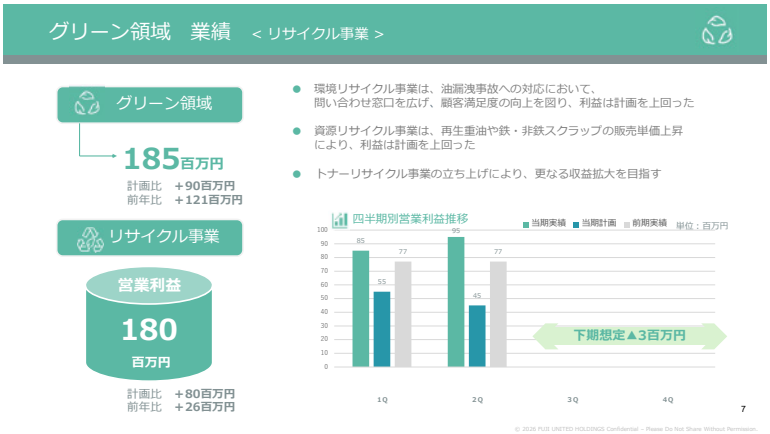
それでは、2027年3月期の第2四半期決算概要についてご説明します。
領域別の営業利益実績は、資料の表のとおりです。詳細はこの後、領域ごとにご説明します。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

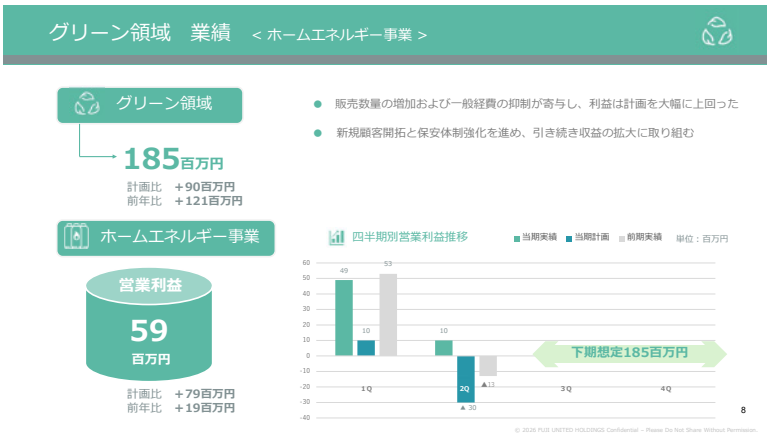
富士ユナイトホールディングス株式会社 | 2026年11月12日（木）

416A 東証スタンダード 卸売業

決算説明



グリーン領域のリサイクル事業です。
環境リサイクル事業は、油漏洩事故への対応において問い合わせ窓口を広げ、顧客満足度の向上を図った結果、利益は計画を上回りました。
資源リサイクル事業は、再生重油や鉄・非鉄スクラップの販売単価上昇により、利益が計画を上回っています。
今後は、トナーリサイクル事業の立ち上げにより、さらなる収益拡大を目指してまいります。



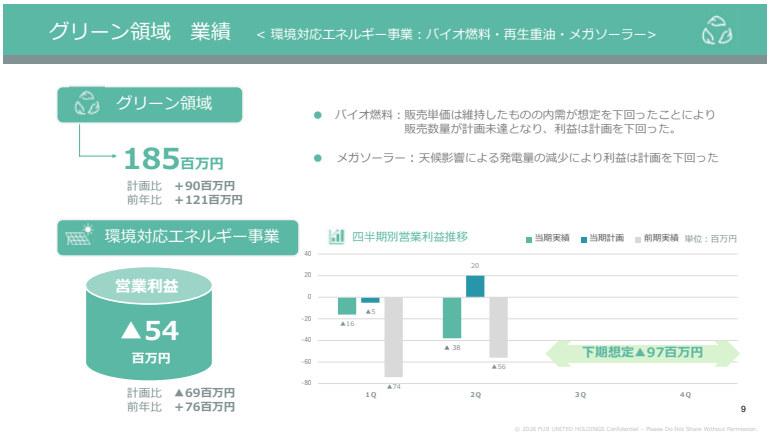
グリーン領域のホームエネルギー事業は、販売数量の増加と一般経費の抑制が寄与し、利益は計画を大幅に上回りました。新規顧客開拓と保安体制強化を進め、引き続き収益の拡大に取り組んでいきます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

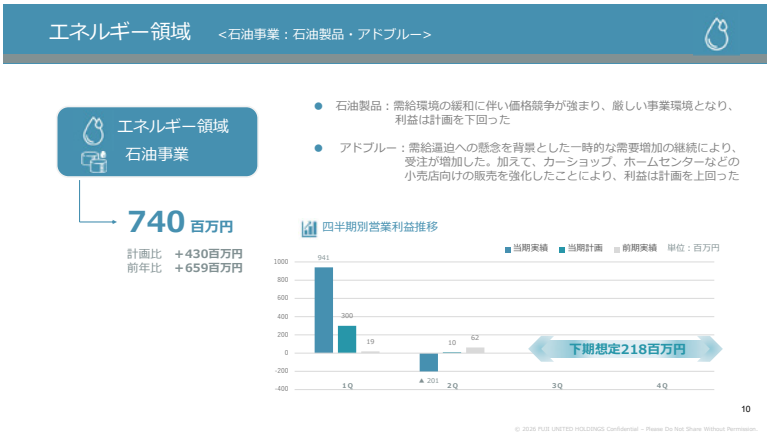
富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



グリーン領域の環境対応エネルギー事業です。
バイオ燃料は、販売単価は維持したものの、内需が想定を下回ったことで販売数量が計画未達となり、利益は計画を下回りました。メガソーラーも、天候影響による発電量の減少により、利益は計画を下回る結果となりました。



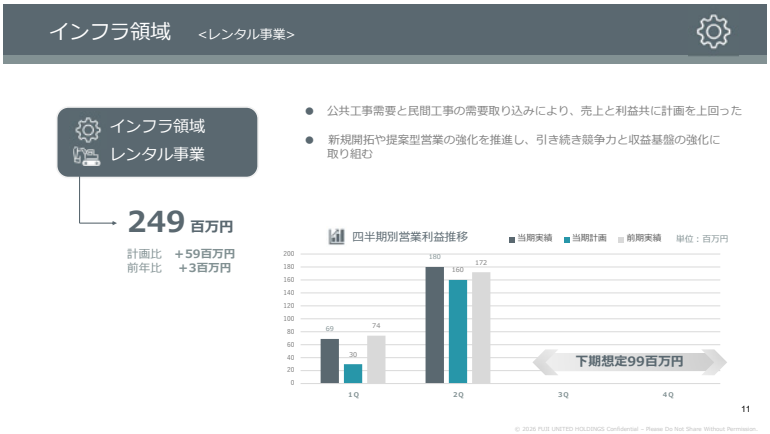
エネルギー領域です。
石油事業は、需給環境の緩和に伴い価格競争が強まり、厳しい事業環境となったことから、利益は計画を下回りました。
アドブルー事業では、需給逼迫への懸念を背景とした一時的な需要増加が続き、受注が増加しました。加えて、カーショップやホームセンターなど小売店向けの販売を強化した結果、利益は計画を上回っています。
なお、中東情勢を背景とした地政学リスクにより、原油価格やエネルギー需給は依然として不安定な状況が続いており、先行きは不透明です。こうした外部環境の変化は石油事業に大きく影響するため、市場動向を慎重に見極めながら、適切な事業運営に努めてまいります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

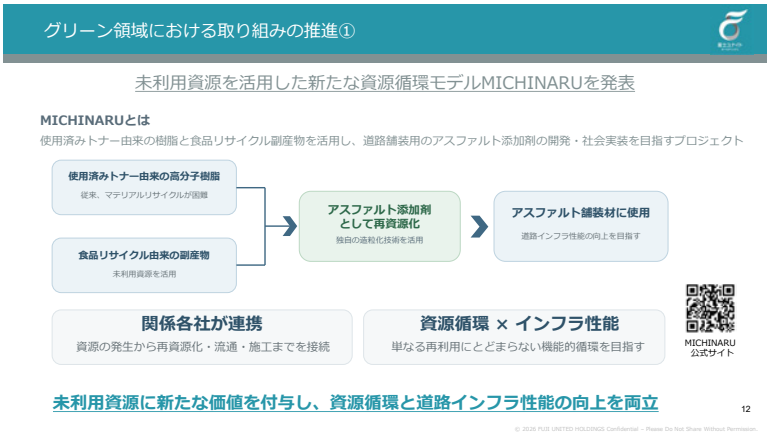
富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



インフラ領域です。
公共工事需要と民間工事の需要を取り込んだことで、売上・利益ともに計画を上回りました。今後も新規開拓や提案型営業の強化を推進し、引き続き競争力と収益基盤の強化に取り組みます。



最後に、2027年3月期の第2四半期における取り組み状況を3点ご説明します。
1つ目は、グリーン領域におけるMICHINARUです。当社グループでは、未利用資源を活用した新たな資源循環モデル「MICHINARU」を2026年4月に発表しました。MICHINARUは、使用済みトナー由来の樹脂と食品リサイクルの副産物を活用し、道路舗装用のアスファルト添加剤として再資源化する取り組みです。なお、MICHINARUの製造方法については特許出願中です。
これまで十分に活用されていなかった資源を再資源化し、道路舗装用のアスファルト添加剤として活用することで、新たな価値の創出を目指しています。本取り組みでは、関係各社が連携し、資源の発生から再資源化、流通、施工までをつなぐ仕組みを構築しました。単なる資源の再利用にとどまらず、道路インフラの性能向上も目指すことで、資源循環とインフラ性能の向上を両立する新たな循環モデルの実現を目指してまいります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

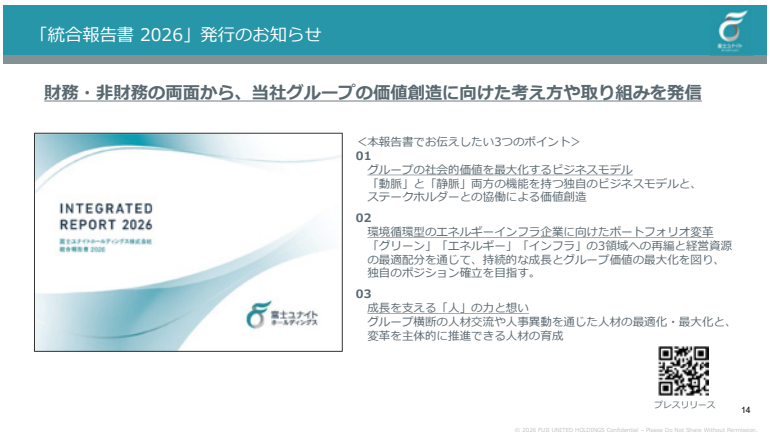
富士ユナイトホールディングス株式会社
416A 東証スタンダード 卸売業

2026年11月12日（木）

決算説明



2つ目は、グリーン領域におけるサステナブル燃料ソリューションに関する情報発信の強化です。
ウェブサイト上のサステナブル燃料の専用ページを拡充し、当社が提供するソリューションをわかりやすく紹介することで、サステナブル燃料の認知度向上を図っています。具体的には、バイオディーゼル燃料、再生重油、カーボンオフセット燃料をご紹介していきます。
引き続き、自社製造4拠点、年間2万キロリットルの供給体制を活かし、サステナブル燃料の安定供給を推進してまいります。



3つ目は、10月30日付で発行した「統合報告書2026」です。
本報告書では、当社グループを財務・非財務の両面からご紹介しています。
主な訴求ポイントは3点です。1つ目は、動脈と静脈の両方の機能を持つ独自のビジネスモデルによる社会的価値の創出です。2つ目は、グリーン、エネルギー、インフラの3領域へのポートフォリオ再編を通じた持続的な成長と、独自のポジションの確立です。3つ目は、グループの成長を支える人材の育成です。
本報告書を通じて、当社グループの価値創造に向けた考え方や取り組みについて、皆様により深くご理解いただければと考えています。ぜひご覧ください。
以上で私からの説明を終了します。今後とも、富士ユナイトグループに絶大なるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読みください。
Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■
〒107-0062東京都港区南青山5-13-3
株式会社フィスコ
電話：03-5774-2443（IRコンサルティング事業本部）
メールアドレス：support@fisco.co.jp